

市川市 北部地域交流事業

認定 NPO 法人 しゃり

〒272-0837 千葉県市川市堀之内 3-18-25 グリーンマノリアル 1F

助成事業の概要

私たちが主な活動拠点としている市川市北国分・中国分・堀之内地区は近年開発が進み、新しい住民が増えているが、昔から住んでいる地域住民との交流は必ずしも多くなく、まして障害児・者と健常児・者との交流はより少ない状況である。今回地域住民同士の、世代間交流の場の提供を主の目的として「インクルーシブな地域社会の実現」をテーマとした講演会を計5回実施した。

工藤加織氏（保護者）

畑中陽介氏（個別担当） 藤浪花織氏（個別担当） 対馬健太氏（個別担当）

4回目 平成27年12月13日（日）

障害者は施設に入るのが幸せ？～「地域で生きる」を考える～

講師：池澤直行氏（一般社団法人千葉県作業療法士会）

大井好美氏（市川市障害者団体連絡会）

1回目 平成27年7月12日（日）

“誰もが地域でいきいきと暮らしていくためにできること”について考える。

講師：地域住民

5回目 平成28年2月7日（日）

“虐待”を知ろう、語ろう～あなたができる身近な支援～

講師：桑田良子氏（中核地域生活支援センター ほっとねっと）

桑田久嗣（松戸市基幹相談支援センター CoCo）

不破牧子氏（NPO 法人ダイバーシティ工房）

小俣和恵氏（一般社団法人 A-TRUCK 北国分駅前しゃりっこ保育園）

2回目 平成27年8月23日（日）

「発達障害を理解する～疑似体験を通して～」

講師：木村遥氏

3回目 平成27年9月27日（日）

ハートフルキャンプって何なのさ？～ユニバーサルキャンプを目指して～

講師：

【第1部：ハートフルキャンプの作り方】

萩原豪人氏（副野営長） 山田幸恵氏（プログラム長）

深代悠太氏（スタッフ長）

赤坂誠人氏（がり野営長） 木村遥氏（個別担当長）

【第2部：ハートフルキャンプに参加して】

伊藤良子氏（保護者） 野口恵吾氏（保護者）

事業の成果

計5回の開催で、延 111 人の参加があった。参加者は 20～70 歳代で、近隣住民、学生、医療や福祉従事者であった。講演者について1回目は、病気を機にリハビリや看取りをされた当事者と家族の方々に依頼し、苦勞したことや心情の変化について体験談を話していただいた。2回目は「発達障害を理解する～疑似体験を通して～」と

題して、発達障害とは何か、どのように接したらよいか等について、作業療法士の木村遥氏にご講演頂いた。3回目は、しゃりが主催している「ハートフルキャンプ」について、障害児の母親、小学校時代から参加して、今はボランティアスタッフとなった方に、キャンプで苦労したことや楽しかったことなどを語っていただいた。4回目は市川市で活躍されている視覚障害を抱えている当事者と行政の方に、障害者を取り巻く法律や地域での苦労話について、そして5回目は障害者の相談員や、子ども食堂等の運営をされている方、地域で取り組んでいる方々に事例報告や取り組みについて話していただいた。

いずれの講演会も当事者や専門家が、普段感じていることや、当時の感情、今の思いなどについて本音の部分を交えながら話をされ、また参加者からも積極的な意見交換ができていた。

参加者からは、「普段知らないことを知る機会になってよかった」「地域でどのように触れ合ったら良いか考えるきっかけになった」「仕事で関わることも多いが、自分の業務を考え直す機会になった」等の感想が聞かれた。

このような講演会を通して、世代間交流のきっかけ作りとなったことや、障害を負っている方を知り、その方々が近くに生活していることに気づきとなっている。

■ 成果の広報、公表

講演会についてまとめたものを、報告書冊子として作成を予定している。そしてこの冊子を当日参加された演者、参加者へ配布したいと考えている。また、法人のホームページや SNS を活用して掲載する予定である。

■ 今後の展開

次年度もしゃり講演会として、事業を継続する予定である。今後も障害の有無にかかわらず、地域住民の交流機会の場、新たな気づきの場として提供していきたい。合わせて広報活動に今後力を入れていく方向である。具体的には法人のホームページや SNS の活用はもちろん、市の広報の利用や、今年度の講演会で知り合った他団体を通じたネットワークの活用を検討していきたい。また、講演会活動とは別に、他団体との共同によるキャンプや子ども食堂の実施も計画予定である。